

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>


警告

- フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転倒防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。


注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- AF-8は、傾斜角0°~40°に対応しています。

<施工上のご注意>


注意

- 現場でブラケットや継手を組付け・締結する場合は、施工後に締結具合を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故の原因になります。
- 柱と本体ジョイント部の間隔は60mm~200mm以内に施工してください。それ以上離れると耐風圧強度が大幅に低下します。
- AF-8の柱には、側面の片側に水抜き穴があります。穴の位置を確認して柱埋込み時には水抜き穴を塞がないように施工してください。たまった水の凍結や柱の腐食で、柱が破損するおそれがあります。
- 柱の内部にモルタルを詰めたりしないでください。
- AF-8の本体は、傾斜対応を可能にする構造上ななめにつぶれますので、上棧・下棧と小棧のすき間に注意してください。指をはさんでケガをするおそれがあります。
- AF-8の本体は、敷地側の右上に商品名シールを貼っています。確認して取付けてください。

<基礎工事について>

⚠ 注意

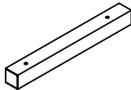
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

■梱包明細書

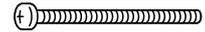
①本体セット

名称	略図	員数
本体		1

②支柱セット

名称	略図	員数
支柱		1
上栈用ブラケット		1
下栈用ブラケット		1
ストレート継手上下栈用		2

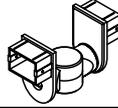
②つづき

名称	略図	員数
②-① M6×70ナベ小ネジ		2
②-② M6平座金		2
②-③ M6バネ座金		2
②-④ φ4X10トラスタッピンネジ種D=8		4

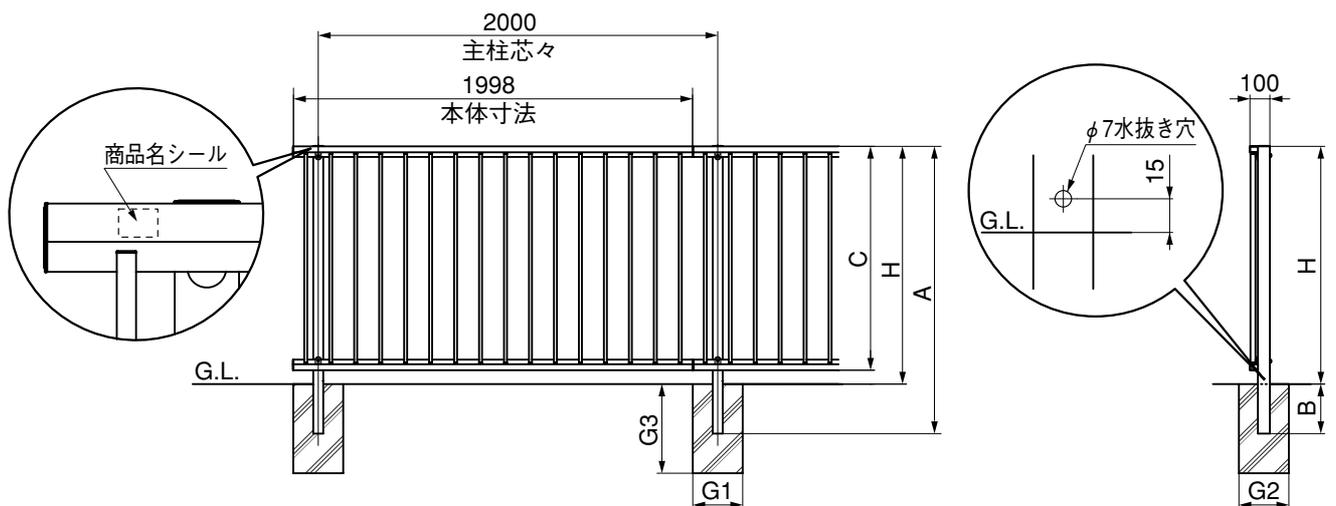
③エンドキャップセット

名称	略図	員数
エンドキャップ		4
③-① φ4X10トラスタッピンネジ種D=8		4
取付説明書	—	1

④自在コーナー継手セット

名称	略図	員数
自在コーナー継手		2
④-① φ4X10トラスタッピンネジ種D=8		4

1. 基本寸法図

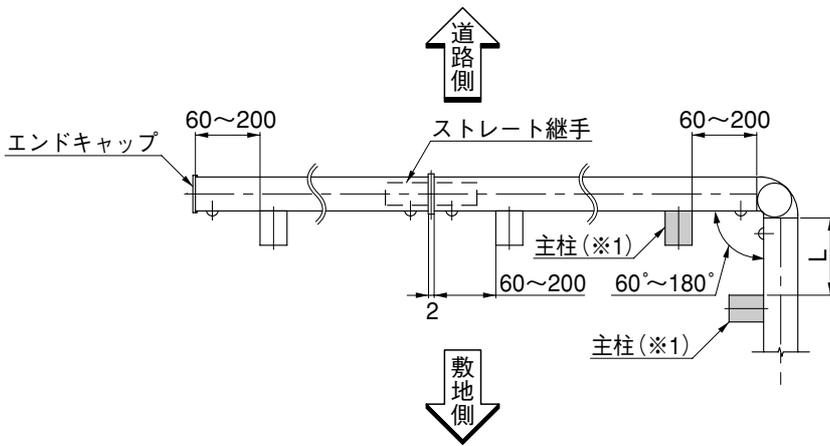


	H	A	B	C	標準基礎寸法		
					G ₁	G ₂	G ₃
H800	800	1000	200	730	180	180	450
H1000	1000	1200	200	930	180	180	450
H1200	1200	1450	250	1130	200	200	450
H1500	1500	1800	300	1430	250	250	450

⚠ 注意

- 基礎は長期地耐力を100KN/m²に仮定したときの参考寸法です。
- 施工時には現場の地盤に合わせて検証してください。地盤の状況によっては倒壊のおそれがあります。

2. 端部・コーナ一部の柱位置



⚠ 注意

- コーナー部には風が集中するため、必ず主柱を2本施工してください。(※1)

✎ 補足

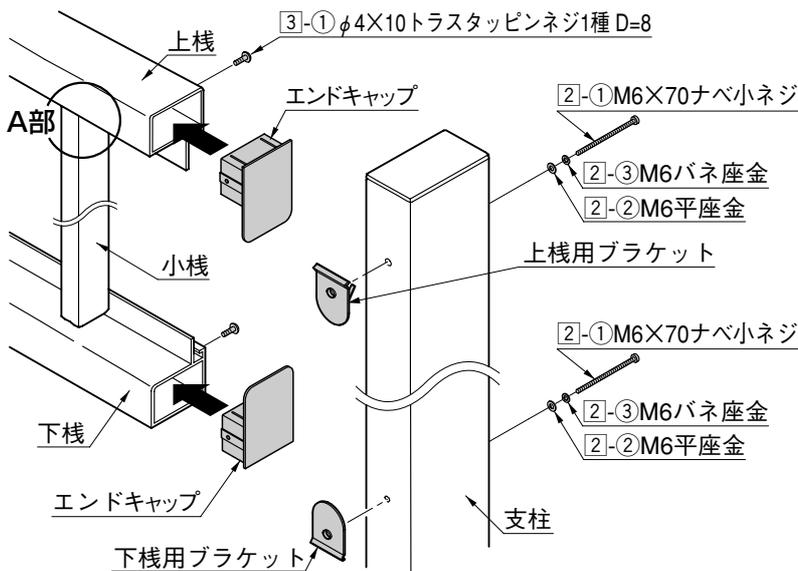
- コーナー部に建てる2本の主柱は、基礎どうしが干渉しないようにL寸法を300mm以内で調整して施工してください。

🔑 ポイント

- コーナー部の主柱の基礎への固定はフェンス本体を取付けた後、モルタルで完全に固定してください。

3. 本体の取付け

3-1 本体と主柱の取付け



🔑 ポイント

- 主柱芯々寸法は、「1.基本寸法図」、「2.端部・コーナ一部の柱位置」を参照してください。

- 1 上棧用ブラケットを2-1、2-2、2-3で仮固定してください。

⚠ 注意

- 本体を傾斜する時に、上棧・下棧と小棧とのすき間に注意してください。指をはさんでケガ(※1)をするおそれがあります。(図3-1参照)

- 2 本体の上棧を上棧用ブラケットに引っかけてください。
- 3 本体の下棧を下棧用ブラケットと2-1、2-2、2-3で取付けてください。
- 4 上棧・下棧が、上棧ブラケット・下棧ブラケットに確実にかかるように取付けてください(※2)。(図3-2参照)
- 5 上棧用ブラケットと下棧用ブラケットを2-1、2-2、2-3でしっかりと締付けて固定してください。
- 6 本体の端部にはエンドキャップを3-1で取付けてください。

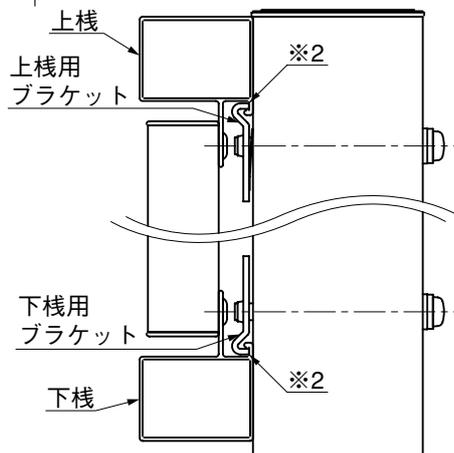
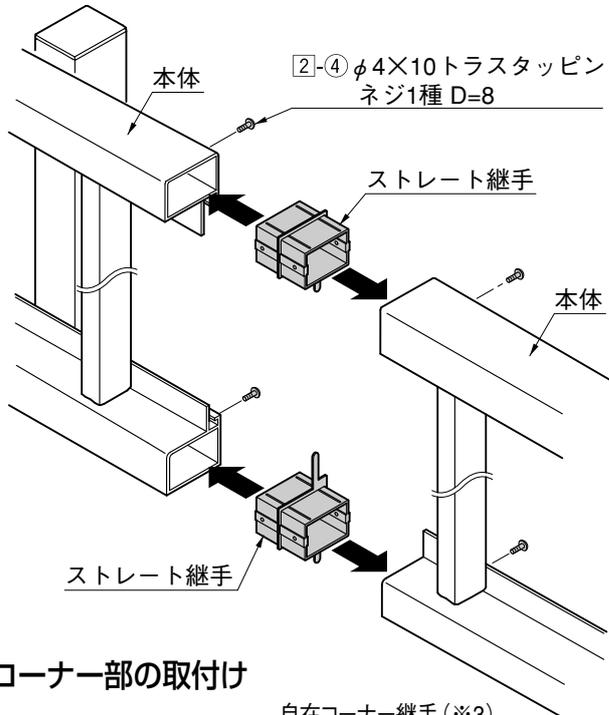


図3-1 A部詳細

図3-2

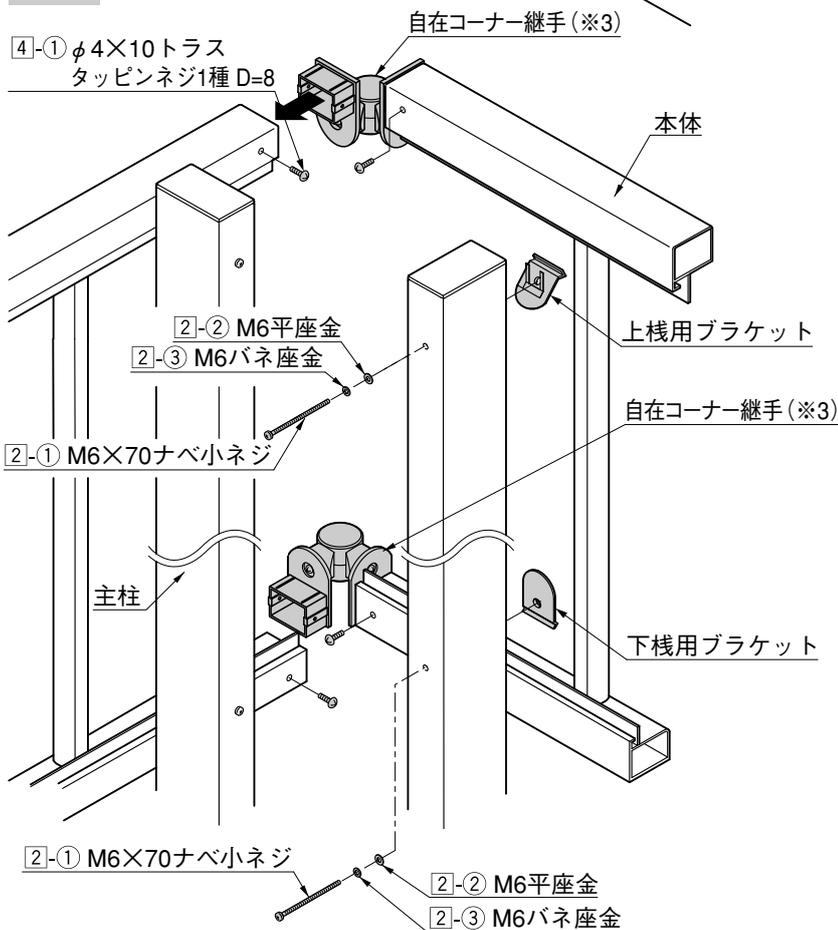
3. つづき

3-2 連結部の取付け



- 1 本体の連結はストレート継手を2-4で取付けてください。

3-3 コーナー部の取付け



ポイント

- 支柱芯々寸法は、「1.基本寸法図」、「2.端部・コーナー部の柱位置」を参照してください。
- 自在コーナー継手は、TOEXのロゴが上面になるよう取付けてください。(※3)

- 1 自在コーナー継手は、4-1で上栈・下栈に取付けてください。
- 2 上栈用ブラケットを2-1、2-2、2-3で仮固定してください。

注意

- 本体を傾斜する時に、上栈・下栈と小栈とのすき間に注意してください。指をはさんでケガ(※1)をするおそれがあります。(図3-1参照)

- 3 本体の上栈を上栈用ブラケットに引っかけてください。
- 4 本体の下栈を下栈用ブラケットと2-1、2-2、2-3で取付けてください。
- 5 上栈・下栈が、上栈ブラケット・下栈ブラケットに確実にかかるように取付けてください(※2)。(図3-2参照)
- 6 上栈用ブラケットと下栈用ブラケットを2-1、2-2、2-3でしっかりと締付けて固定してください。

取説コード

C309

KBZ578070D
200309A_1001
201607E_1049